昭和医科大学雑誌　第86巻　第3号〔315-320頁，2026〕

# 第415回　昭和医科大学学士会例会（保健医療学部会主催）

日　　時：2026年1月10日（土）9：45～15：35
会　　場：昭和医科大学横浜キャンパス104教室

## 1. 冠動脈石灰化量と微小循環障害の関連性に関する臨床的検討

昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
古澤　由衣，先山　耕史
佐藤　久弥

冠動脈石灰化量Agatston Scoreは動脈硬化の進展度を反映する指標として広く用いられ，冠動脈CTで算出されるAgatston Scoreは冠動脈疾患リスク評価に有用とされている．一方，虚血評価には冠血流予備量比FFRが標準的であるが，FFRが保たれていても胸痛を呈し，微小循環障害が疑われる症例も存在する．近年，微小循環評価指標として冠動脈血流予備能CFRや微小循環抵抗指数IMRが注目され，石灰化量との関連が示唆されている．本研究は，冠動脈石灰化量と微小循環障害の関連性を明らかにすることを目的とした．冠動脈CTと心臓カテーテル検査を施行した44例を対象に後方視的解析を行い，Agatston ScoreとCFR・IMRならびに臨床背景因子との関連を検討した．

単変量解析では，Agatston ScoreはCFR（p＝0.733），IMR（p＝0.426）といずれも有意な相関を認めなかった．ロジスティック回帰分析においても，CFR低値群・IMR高値群のいずれにおいてもAgatston Scoreの有意な関連は示されなかった．

しかし，背景因子を含めた多変量解析では，CFR低値にはBMI・体重・身長・脂質異常症・HDLが関連し，IMR高値にはプラーク数・Agatston Score・年齢・性別・BMIが関連を示した．

## 2. 負荷心筋血流シンチグラフィにおける腹臥位追加撮像を実施する判断 基準となる指標の検討

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 昭和医科大学藤が丘病院放射線技術部
[3] 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
[4] 昭和医科大学病院放射線技術部
大桃　真裕[1,2]，中井　雄一[2,3]
佐藤　久弥[3,4]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 3. 放射線治療における高精度照射技術拡充に向けた安全性評価の検討

昭和医科大学大学院保健医療学研究科医学物理教育分野
田島　瑞樹，宮浦　和徳

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 4. 頭部 Computed Tomography（CT）検査におけるガントリ傾斜角度の変化に伴う線量分布の検討

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 昭和医科大学藤が丘病院放射線技術部
松 本　涉[1]，中井　雄一[1,2]
薄井　裕美[1,2]，安田　光慶[1,2]
渡邊　裕之[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 5. 先天性心疾患患者における非造影磁気共鳴リンパ管撮像でのリンパ管描出能向上を目的とした最適エコー時間の検討

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 昭和医科大学病院放射線技術部
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科小児循環器内科学分野
[4] 昭和医科大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター
[5] 昭和医科大学藤が丘病院放射線技術部
本寺　哲一[1,2]，藤井　隆成[3,4]
安田　光慶[1,5]，喜瀬　広亮[3,4]
齊藤真理子[3,4]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 6. 呼吸モニタリングデバイスを用いた左乳癌深吸気息止め照射における呼吸停止位置の変位が線量分布に与える影響

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 昭和医科大学江東豊洲病院放射線技術部
[3] 昭和医科大学藤が丘病院放射線技術部
[4] 昭和医科大学病院放射線技術部
岩村　航平[1,2]，西村　柊子[2]
中島　潤也[1,3]，大澤　三和[1,2]
佐藤　久弥[1,4]

【発表内容掲載論文】
昭和医科大学雑誌．2025;**85**:380-389.

## 7. 中性子捕獲増強陽子線治療における二次熱中性子強度に関する調査

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 湘南鎌倉総合病院医学物理室
下　貴 裕[1,2]，渡邊　裕之[1]

【発表内容掲載論文】
*Appl Sci* (*Basel*). 2025;**15**:6833.

## 8. 微弱電流刺激療法とストレッチの併用が投球後の筋疲労回復に及ぼす効果

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科アスレティックトレーニング分野
[2] 横濱松宮整形外科リハビリテーションクリニック
[3] 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科
黄　駿 佑[1,2]，加賀谷善教[1,3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 9. 高校野球選手における投球動作中の体幹非投球側傾斜角度と体幹回旋可動性，体幹回旋時の側屈代償の関連について

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[2] 横浜市スポーツ医科学センター
田中　大夢[1,2]，加賀谷善教[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 10. 急性期脳卒中患者における麻痺側および非麻痺側上肢運動時の筋間コヒーレンスの解析

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[2] 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
[3] 昭和医科大学臨床疫学研究所
江原　真人[1]，大塚　裕之[1,2,3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 11. 作業療法士はクライアントの作業に付随する文脈をどう捉えているのか

昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
戸田　成美，鈴木　久義

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 12. 介護予防事業の行動分析学的マネジメントの検討
### ―生活空間と自主トレーニングの促進―

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[2] 群馬パース大学リハビリテーション学部
[3] 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
岡崎　大資[1,2]，佐 藤　満[2,3]
仲 保　徹[1]

【発表内容掲載論文】
昭和医科大学雑誌．印刷中．

## 13. 筋萎縮性側索硬化症における腹部隆起力の妥当性：吸気筋力・横隔膜超音波の比較

昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
大戸　恵介，中村　大介

【発表内容掲載論文】
昭和医科大学雑誌．印刷中．

## 14. 医療機関以外に勤務する認定遺伝カウンセラー（CGC）に求められている役割とコンピテンシー

昭和医科大学大学院保健医療学研究科遺伝カウンセリング分野
覚井美奈子，犬塚真由子
石井　達子，渡邊　知映

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 15. A 地域在住の認知症介護経験者の認識 ～認知症の方とそのご家族がその人らしく地域で安心して暮らせるために～

昭和医科大学大学院保健医療学研究科医系基礎・専門・教育分野
佐立　優香，田中　晶子

【目的】認知症介護経験者の認知症に対する認識，及び介護者が必要とする支援を明らかにすることを目的とした．

【方法】認知症の介護経験を有する男女 11 名に半構造化面接を実施した．インタビュー内容は対象者の了承を得て録音し逐語録を作成し，質的記述的分析を行った．

【結果】介護経験者が持つ認知症の認識は［なりたくない病気］［何もかも分からなくなる］［どこかへ行ってしまう］の 3 項目であった．ポジティブな側面は［嫌なことがあってもすぐに忘れてくれる］［昔の記憶や習慣は覚えている］［苦しまずに最期を過ごせる］の 3 項目であった．ネガティブな側面は［認知症への偏見］［こだわりが強くなる］［言葉のキャッチボールが出来なくなる］［自分のことが分からなくなる］［家族のことが分からなくなる］［感情のコントロールが難しい］［すぐ忘れてしまう］の 7 項目であった．介護者が必要とする支援は［認知症を正しく理解する場］［地域とのつながりによる支え合える関係作り］［かかりつけ医からの助言］［安心して頼れる関係づくり］の 4 項目であった．

【考察】介護経験者が持つ認知症の認識はネガティブな側面が多いが，ポジティブな側面にも解釈できる両義性が見られた．これらは介護者が必要とする支援と密接に関連しており，介護者や地域住民が地域全体で認知症を支えることが出来るよう，地域住民と医療機関，地域包括支援センターが連携できるシステム作りが重要であることが明らかになった．

## 16. Z 世代看護師における性格特性別の学習スタイルと職務ストレスに関する探索的研究

昭和医科大学大学院保健医療学研究科医系基礎・専門・教育分野
大久保詠美，安部　聡子

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 17. 重度アルツハイマー型認知症患者への臨床判断モデルを用いた高度看護実践と有効性の報告：行動心理症状とせん妄の複合的病態を呈した症例

昭和医科大学大学院保健医療学研究科専門看護師（CNS）分野
浅水　翔太

【背景】認知症高齢者は病状の不安定さに加え，行動心理症状（BPSD）やせん妄により症状が複雑化し，治療やケアの拒否，身体抑制や薬物療法への依存といった倫理的課題を伴いやすい．特に強い拒否は「患者の意図的な抵抗」と誤認されやすく，尊厳の低下につながるリスクが高い．

【目的】BPSD とせん妄症状が重複し，複雑化した課題を抱えた重度アルツハイマー型認知症（AD）患者に対し，老人看護専門看護師（GCNS）教育課程の看護師が Tanner の臨床判断モデルを枠組みとして，生理的危機の回避と尊厳の保持に向けた高度な看護実践のプロセスを明らかにする．

【方法】本症例は入院中の重度 AD 患者に対する看護実践の単一症例報告である．GCNS 実習での看護実践や観察記録，電子カルテ上の記録等に基づき質的記述的分析を行った．

【結果 / 考察】GCNS 教育課程の看護師の実践を Tanner の臨床判断モデルの枠組みで分析した結果，複雑化した課題が生じた症例に対する倫理的かつエビデンスに基づいたケアの妥当性が示された．患者の言動の背景にある価値観や人生観を読み解き，生理的ニードの複合的な破綻を評価し，行動の再文脈化を軸に看護展開した．これにより身体抑制への依存と生理的危機を回避し，尊厳の保持と生命維持を両立させた．さらに本実践を病棟スタッフと共有したことは高齢者へのチームケアの質向上に寄与しうることが示唆された．

## 18. 特定健診・特定保健指導の有用性の検討 ―中規模企業における保健指導による改善状況―

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 株式会社保健科学研究所
[3] 昭和医科大学
市川　湧子[1,2]，安 原　　努[1]
高 木　　康[2,3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 19. リハビリテーション実績指数に影響する栄養関連因子の探索：回復期病棟における GLIM 基準を用いた評価との関連

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医系基礎・専門・教育分野
[2] 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻
[3] 昭和医科大学臨床疫学研究所
[4] 名古屋市立大学医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻
松 井　　遥[1]，池 田　　崇[2,3,4]
安部　聡子[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 20. 保健医療学部における英語コミュニケーション科目の教育実践と課題

昭和医科大学医学英語教育センター
野田千ゑ里，大澤　恵里

本発表では，保健医療学部における英語コミュニケーション教育の実践と課題について報告する．国内医療の多文化化が進む中，医療従事者には臨床現場で英語を用いて円滑に意思疎通を行う力が求められている．一方，授業で英語を声に出して参加することに心理的抵抗を感じる学生も多い．そこで，英語コミュニケーションに特化した科目 English for Healthcare Communication を 1 年次から開講しており，2 年次以降も継続して学習を深められるカリキュラムとなっている．1 年次の授業は少人数制で行われており，学生一人ひとりが英語を実際に発する機会を多く持てるようにさまざまな工夫がされている．1 年次では病院等の医療現場における基本的な受け答えや病名をはじめとする専門用語の習得に重点をおき，英語コミュニケーションスキルの基礎の構築を目指している．2 年次では，臨床場面の状況想起と相互評価を通してロールプレイの質的向上と，機能表現を用いた自発的発話の促進に取り組んでいる．看護学科では，不適切なコミュニケーション例を示したビデオ教材を用い，どの点を改善すべきかなどをグループで検討する活動を取り入れている．一方，リハビリテーション学科では，患者に対する指示や説明といった極めて実用性の高い会話表現を中心に扱っている．今後は，1・2 年次の科目間連携を強化し，段階的に英語コミュニケーション力を育成する体系の構築を目指している．

## 21. 海外研修における学生の精神的変化の定量的分析

[1] 昭和医科大学国際交流センター
[2] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科看護分野
[3] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[4] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科アスレティックトレーニング分野
工藤　芳子[1]，田中　晶子[2]
三村　洋美[2]，渡邊　知映[2]
稲葉　康子[3]，三宅　英司[4]
平泉　由香[1]，Michael W. Myers[1]
古田　厚子[1]，土屋　静馬[1]
宮 﨑　　隆[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 22. 外傷性視神経症の視野による重症度分類

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科眼科学分野
妻鳥　文香[1]，恩田　秀寿[1,2]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 23. 糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫に対するブロルシズマブ及びラニビズマブ硝子体内投与の超短期成績の比較

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野
[2] 昭和医科大学江東豊洲病院眼科
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科眼科学分野
小林　知世[1]，　園部　大輔[2]
小菅正太郎[2,3]，安達　まい[2]
岩渕　成祐[2,3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 24. 心臓血管外科手術後ヘパリン非使用下での静脈－静脈型体外式膜型人工肺（venovenous ECMO）における有用性と安全性の検討

[1] 昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野
[2] 昭和医科大学江東豊洲病院臨床工学室
[3] 昭和医科大学病院臨床工学室
鈴木　雅展[1,2]，神崎　俊治[1,2]
大 石　　竜[1,3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 25. 細胞性栄養膜細胞の合胞体化における微細構造および分子的変化

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科産婦人科学分野
[2] 昭和医科大学電子顕微鏡室
岩橋　雅之[1]，川嶋　章弘[1]
小出　馨子[1]，髙木　孝士[2]
関沢　明彦[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

## 26. 顎変形症患者における社交不安障害の特徴

[1] 昭和医科大学大学院歯学研究科歯科矯正学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科生体調節機能学分野
[3] 昭和医科大学歯学部歯科矯正学講座
松沢　喜姫[1]，本間　元康[2]
芳賀　秀郷[1]，小 倉　　董[3]
政岡　ゆり[2]，泉崎　雅彦[2]
中納　治久[1]

【発表内容掲載論文】
*Showa Med Univ J.* in press.